

(案)

第5次吉田町総合計画後期基本計画
進捗管理報告書



令和5年8月〇日

吉田町

○ この報告書について

当町では、平成28年度から、将来都市像“人が集い 未来へはばたく魅力あふれるまち 吉田町”とした第5次吉田町総合計画をスタートさせました。

現在、第5次吉田町総合計画後期基本計画が始まって3年が経過し、今年度は計画の最終年度になります。この計画の着実な推進を図るため、第5次吉田町総合計画後期基本計画に掲げた主要施策の定期的な進捗管理を行っていくことが将来都市像の達成及び後期基本計画の推進のために必要であることから、この報告書を作成します。

1 将来都市像

人が集い 未来へはばたく魅力あふれるまち 吉田町

2 評価の方法

(1) 内部評価（吉田町ステップアップシートの活用）

吉田町まちづくりステップアップシートに記載された第5次吉田町総合計画後期基本計画作成時に設定した、7つの施策の大綱ごとに掲げられている分野の主な目標について、目標値に対する令和4年度の実績による現状の達成状況を確認します。

(2) 外部評価（吉田町総合計画等審議会）

定量的評価に基づいて、検証を行います。

- ① 各施策の具体的な目標について「目指す方向に向かっているか」「向かっているまたは向かっていないと思う理由」など、方向性に対する意見をいただく。
- ② 将来都市像の実現に向けて、「どのような取組を進めるべきか」など、今後の計画を推進するための意見をいただく。

3 第5次吉田町総合計画後期基本計画施策体系（令和2年度～令和5年度）

<p>将来都市像</p> <p>人が集い 未来へはばたく魅力あふれるまち 吉田町</p>	<p>基本理念1</p> <p>安全で安心して住み続けることのできるまちづくり</p>	<p>第1章</p> <p>災害に強く安全・安心に暮らせるまちづくり</p>	<p>分野</p> <p>地震・防災対策</p> <p>治山治水対策</p> <p>交通安全対策</p> <p>くらし安全</p> <p>消防・救急</p>	<p>第7章</p> <p>行政と住民が一体となって取り組むまちづくり</p> <p>・適正かつ効率的な行財政運営を推進する</p> <p>・住民参画を推進する</p> <p>・住民本位の行政を推進する</p> <p>・誰もが輝ける社会を実現する</p>	
		<p>・津波災害対策を推進する</p> <p>・地域防災力を高める</p> <p>・安全・安心に暮らせる環境を創出する</p>	<p>第2章</p> <p>誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり</p>		<p>分野</p> <p>健康づくり</p> <p>地域医療</p> <p>地域福祉</p> <p>社会保障</p> <p>子育て支援</p> <p>高齢者福祉</p> <p>障害者福祉</p>
	<p>基本理念2</p> <p>賑わいが生まれ、活力が</p>	<p>第3章</p> <p>活力あふれる産業振興のまちづくり</p>	<p>分野</p> <p>農業</p> <p>水産業</p> <p>商工業</p> <p>観光</p> <p>新産業</p> <p>企業誘致</p> <p>雇用・就業対策</p>		
		<p>・地域に根づく産業を育成・支援する</p> <p>・経済の活力を高める新たな産業を創出する</p> <p>・魅力ある雇用・就業環境を創出する</p>	<p>第4章</p> <p>魅力あふれる多様な交流を生むまちづくり</p>		<p>分野</p> <p>土地利用</p> <p>住環境</p> <p>公園・緑地・水辺</p> <p>道路網</p> <p>生活交通</p> <p>コミュニティ</p> <p>多文化共生</p> <p>賑わいづくり</p>
	<p>基本理念3</p> <p>豊かな心を育み、愛する郷土を守り、次代につなげるまちづくり</p>	<p>第5章</p> <p>次代を担う心豊かな人を育むまちづくり</p>	<p>分野</p> <p>幼児教育</p> <p>学校教育</p> <p>地域教育</p> <p>青少年健全育成</p> <p>芸術文化・文化財</p> <p>生涯学習</p> <p>スポーツ・レクリエーション</p>		
		<p>・次代を担い、社会を生き抜く力を持つ人づくりを進める</p> <p>・地域の歴史・文化を継承し、心豊かな人を育む活動を推進する</p> <p>・心身の健康を保ち、向上心を育む活動を推進する</p>	<p>第6章</p> <p>豊かな自然と共生するまちづくり</p>		<p>分野</p> <p>上水道</p> <p>下水道・浄化槽・し尿処理</p> <p>環境衛生</p> <p>ごみ減量・リサイクル</p> <p>地球温暖化防止対策</p>
			<p>・豊かな自然環境を保全する</p> <p>・水資源を活用する</p> <p>・地球にやさしい循環型社会を実現する</p>		

4 分野の主な目標に対する評価について

(1) 評価の凡例

- A・・・令和4年度実績値が目標値を達成しているもの
- B・・・令和4年度実績値が現状値（基準値）より改善しているもの
- C・・・令和4年度実績値が現状値（基準値）より改善していないもの
- －・・・令和4年度実績値がないもの

(2) 分野の主な目標達成状況一覧

「※」は新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業

実施計画の主な目標	A	B	C	－
【第1章】災害に強く安全・安心に暮らせるまちづくり	4	4	5	0
シーガーデン（海浜回廊）の盛土整備率		○		
防災行政無線（移動系）デジタル化の整備率	○			
よしだ防災メール登録件数（累計）		○		
吉田町地域防災指導員養成講座及びジュニア防災士養成講座受講者数（累計）	○			
大幡川・大窪川・第2大窪川の改修率		○		
住吉地区浸水対策計画の策定率		○		
交通人身事故発生件数	○			
青色防犯パトロール実施団体数			○	
刑法犯認知件数	○			
消防団協力事業所表示制度登録事業所数			○	
女性消防団員数			○	
救急車両の平均現場到着時間			○	
火災車両の平均現場到着時間			○	
【第2章】誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり	8	3	5	0
高血圧有病者の割合（40～74歳）			○	
妊娠や出産に関する講座実施回数	○			
7か月児健康相談実施率	○			
内科診療所数	○			
社会福祉協議会におけるボランティア人材登録者数			○	
小中学生が福祉ボランティア活動に参加した人数			○※	
地域福祉推進委員会の開催	○			

実施計画の主な目標	A	B	C	—
国民健康保険被保険者の特定健康診査受診率			○✖	
保育所の待機児童数	○			
放課後児童クラブの待機児童数	○			
ファミリーサポートセンター会員数		○		
子育て支援センター利用者数			○✖	
生涯現役人材バンク登録者数		○		
高齢者見守りネットワーク協力事業所数	○			
高齢者向けワンコインサービス利用者数（累計）	○			
障害福祉サービス及び地域生活支援事業利用者数		○		
【第3章】活力あふれる産業振興のまちづくり	6	3	8	0
認定農業者及び認定新規就農者数			○	
荒廃農地面積	○			
認定農業者等への農地集積率	○			
水産振興拠点の整備			○	
漁業就業相談件数			○	
多目的広場の整備		○		
製造品出荷額	○			
商品販売額	○			
新商品開発支援件数（累計）			○	
観光交流客数			○✖	
創業者数（累計）		○		
大学等と連携した新商品等の開発（累計）			○	
“ふじのくに”のフロンティアを拓く取組に係る企業活動維持支援事業地内への企業誘致件数（累計）	○			
“ふじのくに”のフロンティアを拓く取組に係る物資供給拠点確保事業地内への商業施設誘致件数（累計）			○	
インターンシップ参加者受入企業の開拓（累計）		○		
インターンシップ参加者数（累計）	○			
榛南地区勤労者共済会の会員数			○	
【第4章】魅力あふれる多様な交流を生むまちづくり	4	5	8	0
ふじのくにフロンティア推進エリアの認定数	○			
空き家バンク制度の利用登録件数（累計）			○	

実施計画の主な目標	A	B	C	—
町営住宅大規模修繕棟数（累計）			○	
土地区画整理事業において築造する道路の整備率			○	
緑化イベント参加者数			○	
舗装修繕実施率	○			
橋梁点検（近接目視）実施率		○		
町内を運行するバス路線数	○			
町内バス停の乗降者数			○※	
自治会への加入率			○	
コミュニティカレッジ受講者数（累計）		○※		
住民と外国人が交流を図るイベント等の参加者数			○※	
多言語による情報発信回数	○			
外国語版情報誌の配布枚数		○		
無料 Wi-Fi スポットの設置数（累計）		○		
案内看板（多言語化）の設置数（累計）			○	
ホームページアクセス件数		○		
【第5章】次代を担う心豊かな人を育むまちづくり	3	1	10	0
幼児教育カリキュラムに基づく幼児教育の実施率	○			
全国学力・学習状況調査の県平均正答率との差			○	
各小中学校における学習者用コンピューター1台当たりの児童・生徒数	○			
朝食を毎日食べる児童・生徒の割合			○	
地域教育推進事業への参加者数			○	
チャレンジ教室の教室数			○※	
笑顔いっぱい運動スタッフベスト配布枚数（累計）		○		
芸能祭出演者数			○	
文化展出展者数			○	
芸能祭、文化展等入場者数			○	
生涯学習教室参加人数	○			
シニアカレッジ・寿大学受講者数			○	
図書館来館者数			○	
各種大会、スポーツ教室等への参加人数			○	

実施計画の主な目標	A	B	C	—
【第6章】豊かな自然と共生するまちづくり	5	4	2	0
基幹管路の耐震化延長	○			
有収率		○		
下水道処理人口普及率		○		
浄化槽処理人口普及率	○			
飼い主のいない猫不妊去勢手術実施件数（累計）	○			
環境学習参加者数（累計）	○			
1人1日当たりの可燃ごみの排出量			○	
ごみのリサイクル率			○	
吉田町住宅用新エネルギー機器等設置事業費補助件数（累計）（太陽光発電システム）		○		
吉田町住宅用新エネルギー機器等設置事業費補助件数（累計）（蓄電池システム）		○		
公共施設における温室効果ガス年間排出量	○			
【第7章】行政と住民が一体となって取り組むまちづくり	8	2	3	1
吉田町まちづくりステップアップ行政評価による点検実施率	○			
実質公債費比率	○			
行政手続きなどに係るオンライン利用件数	○			
電子申請サービス数	○			
情報セキュリティ問題発生件数	○			
個人情報の流出・紛失事故件数	○			
情報セキュリティに関する研修を受けた人数（累計）	○			
ホームページアクセス件数		○		
町政報告会参加者数				○※
NPO法人の数			○	
NPO法人の会員数			○	
静岡県「男女共同参画社会づくり」宣言事業所・団体数			○	
人権啓発講演会参加者数（累計）		○		
公共施設におけるユニバーサルデザイン化実施箇所数（累計）	○			
全体	38	22	41	1
（内、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業）	（0）	（1）	（7）	（1）

5 基本目標ごとの具体的な取組

◆ 基本理念 1

安全で安心して住み続けることのできるまちづくり

◆ 第1章 災害に強く安全・安心に暮らせるまちづくり

【分野(1) 地震・防災対策】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和4年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和4年度の取組内容・実績	担当課
シーガーデン（海浜回廊）の盛土整備率 ※総延長約5kmの海岸線において、L2の大津波を越えさせない防潮堤の整備率	30% (平成30年度)	60%	50%	B	○	・L2津波対応における川尻防潮堤及び吉田漁港多目的広場の盛土整備については、令和3年度で完了しており、令和4年度は川尻防潮堤天端の管理を実施した。 ・住吉工区の防潮堤については、関係機関と調整中のため、盛土整備は実施していない。	防災課
防災行政無線（移動系）デジタル化の整備率	0% (令和元年度)	100%	100%	A		・令和3年度に防災行政無線（移動系）デジタル化整備工事が完了し、デジタル方式による防災行政無線の適切な運用を行った。また、同報無線子局のバッテリー交換修繕（24局）を行うことにより、停電時における放送の電力確保を維持することができた。	防災課
よしだ防災メール登録件数（累計）	1,637件 (平成30年度)	4,000件	1,984件	B		・よしだ防災メール及び吉田町公式LINEの登録促進により、より多くの町民に災害情報や防災情報を発信することができた。 【令和4年度末までの登録件数】 よしだ防災メール 1,984件（令和3年度比 -108件） 吉田町公式LINE 7,084件（令和3年度比 +1,650件） ・吉田町公式LINEの運用開始に伴い、同報無線、よしだ防災メール、吉田町公式LINEを連携させ防災情報の配信を行った。	防災課
吉田町地域防災指導員養成講座及びジュニア防災士養成講座受講者数（累計）	236人 (平成30年度)	500人	1,106人	A	○	・「静岡県ふじのくに防災士養成講座」を活用した地域防災指導員養成講座をオンライン方式で開催し、自分の地域は自分で守ることを目指し行動をする「地域防災指導員」の養成を図った。 開催日：令和4年9月6日（火）から10月22日（土）まで 受講者：Aコース…平日コース（計7日間）10人、Bコース…休日主体のコース（計7日間）13人 計23人 ・吉田中学校の1年生及び2年生を対象として、防災活動に積極的に参加し、家庭及び将来の地域の防災リーダーとなる人物を養成するため、「ジュニア防災士養成講座」を開催した。 開催日：令和4年9月27日（火） 受講者：1年生237人、2年生227人 計464人 ・地域防災指導員養成講座を開催したことにより、地域における防災指導ができる人材を育成することができた。 →吉田町地域防災指導員の新規登録者2人 ・ジュニア防災士養成講座を開催したことにより、1年生237人、2年生227人（計464人）に静岡県ふじのくにジュニア防災士認定証が交付され、防災意識の向上とともに次代を担う地域の防災リーダーの育成することができた。	防災課

【分野(2) 治山治水対策】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和4年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和4年度の取組内容・実績	担当課
大幡川・大窪川・第2大窪川の改修率	23.2% (令和元年度)	25.7%	24.6%	B		・大窪川において、昨年度に引き続き、上流側へ護岸の改修を進めるため、準用河川大窪川改修工事を実施した。 事業内容：河川土工1式、ブロック基礎L=101m、ブロック積A=325㎡、舗装工1式、防護柵工1式、仮設工1式 工期：R4.3.30～R5.3.24	建設課
住吉地区浸水対策計画の策定率	0% (令和元年度)	100%	50%	B	○	・坂口谷川流域における住吉地区浸水対策計画については、静岡県、牧之原市、島田市、吉田町、大井川土地改良区から組織する榛南地域流域治水協議会にて、坂口谷川水災害対策プランを策定し、ハード整備の設計に着手することができた。 ・二級河川湯日川流域においては、気候変動による将来予測降雨量を考慮した流域全体での総合的な治水対策を踏まえたハード対策等の計画検討に着手し、基礎調査を完了することができた。	建設課

【分野(3) 交通安全対策】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和4年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和4年度の実績	担当課
交通人身事故発生件数	191件/年 (平成30年度)	150件/年以下	115件/年	A		<ul style="list-style-type: none"> ・4月6日～4月15日に春の全国交通安全運動を実施。※運動初日広報・街頭指導（町内主要交差点） ・7月1日～7月10日に夏の交通安全県民運動を実施。※運動初日広報・街頭指導（町内主要交差点） ・9月21日～9月30日に秋の全国交通安全運動を実施。※運動初日広報・街頭指導（町内主要交差点） ・12月15日～12月31日に年末の交通安全県民運動を実施。※運動初日広報・街頭指導（町内主要交差点） ・毎月10日・20日・30日の「交通事故ゼロの日」に、交通指導車による広報を実施。 ・カーブミラー修繕の実施。（住吉区2基、川尻区4基、片岡区2基、北区3基） ・自転車免許教室の開催。 →住吉小4年生65人（9月12日）、自彊小4年生77人（6月17日）、中央小4年生95人（10月4日） 	防災課

【分野(4) くらし安全】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和4年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和4年度の実績	担当課
青色防犯パトロール実施団体数	2団体 (平成30年度)	10団体以上	2団体	C		<ul style="list-style-type: none"> ・防犯広報誌「セーフティよしだ」を毎月発行し、防犯活動への周知を図った。 ・町内4か所の駐輪場の防犯カメラの運用を引き続き行い、防犯体制を維持した。（庁舎南側駐輪場・中央公民館駐輪場・総合体育館駐輪場・片岡会館駐輪場） 	防災課
刑法犯認知件数	121件/年 (平成30年度)	120件/年以下	72件/年	A		<ul style="list-style-type: none"> ・自治会防犯活動である自転車無施錠調査の支援を行った。 ・年間65回の青色防犯パトロールを実施した。 ・同報無線、町ホームページ等により行方不明者及び振込詐欺に関する情報提供を行った。 	防災課

【分野(5) 消防・救急】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和4年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和4年度の実績	担当課
消防団協力事業所表示制度登録事業所数	13事業所 (平成30年度)	20事業所	11事業所	C	○	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団員を通じて、消防団協力事業所への登録の呼びかけを行った。 ・新規協力事業所の登録はなかったが、更新対象の事業所3件は引き続き更新することができた。 	防災課
女性消防団員数	4人 (平成30年度)	10人	3人	C	○	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団員がラジオ出演し、団員確保のための広報を行った。 ・広報誌に団員募集記事を掲載し、新入団員を募った。 ・女性消防団員が静岡市で開催された勉強会に参加した。 ・ラジオ出演等の広報により新規女性消防団員の勧誘に努めたが、新たな女性団員の確保に至らなかった。 	防災課
救急車両の平均現場到着時間	8分20秒 (平成30年)	7分以内	9分01秒	C		<ul style="list-style-type: none"> ・静岡地域消防広域化の効果として、現場の消防隊等の数を増やすことによる現場活動の充実・強化及び従前の管轄区域を越えて支援を受ける事等ができた。 《吉田町における広域化の効果の主な事例》（R4.4.1～R5.3.31） 1. 災害出動について コロナ禍による救急出動の件数増加などにより、平均現場到着時間は伸びた。しかし、広域化に伴い、従来の管轄を超えて出動を行うことが可能となり、現場への到着時間が短縮されるケースが増加した。 	防災課
火災車両の平均現場到着時間	9分32秒 (平成30年)	10分以内	14分29秒	C		<ul style="list-style-type: none"> (1) 管轄を超えて出動することによる、現場への到着時間の短縮…29件 (2) 現場での消防隊等の数を増やすことによる現場活動の充実・強化（初動体制の強化）…70件 (3) 特殊部隊（航空隊・山岳救助隊・照明電源隊）の出動…1件 (4) 管轄隊の出動等に伴い、他の災害に備えるため他管轄隊の移動配備…13件 (5) その他（従前の管轄区域を越えて柔軟に出動した場合ほか）…152件 	防災課

◆ 第2章 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり

【分野(1) 健康づくり】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和4年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和4年度の取組内容・実績	担当課
高血圧有病者の割合 (40～74歳)	男性40.7% 女性29.8% (平成29年度)	男性38.3% 女性29.6% (令和3年度)	男性41.9% 女性28.6% (令和2年度)	C		<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診の結果に応じて、訪問や来所による保健指導や受診勧奨を実施し、生活習慣の改善に向けたポイントや動機付けを行うことができた。また、医療機関未受診者を受診につなげることができた。 【ヘルスアップ教室】 内容：管理栄養士による健診結果説明と生活習慣予防のための食生活についての実践的な指導 対象：40歳～74歳の者で、特定健診の結果、血圧、脂質の値が受診勧奨値の者及び血糖値が保健指導判定値の者 実施回数：12回、実施延人数：75人 【町民健康相談】 内容：定例健康相談（月1回） 対象：町民 実施者数：64人 【体組成計を活用した生活習慣病予防】 内容：業務用体組成計による体幹部、両腕、両足の筋肉量及び脂肪量の測定、保健師及び管理栄養士による相談 実施者数：381人 【生活習慣病個別相談・健康教育】 <重症化予防個別相談> 内容：保健師による家庭訪問、管理栄養士による食事指導 対象：特定健診の結果、受診勧奨判定値のうち、血糖・血圧・脂質等高値者及び腎機能低下が疑われる者 実施者数：169人（延べ178人） 	健康 づくり課
妊娠や出産に関する講座実施回数	11回/年 (平成30年度)	11回/年	15回/年	A	○	<ul style="list-style-type: none"> 【こども未来課】 ・児童館において子育てに関するイベントを2回、子育て支援センターで9回開催した。 ・参加者の保育、子育てに対する知識を経験してもらうことができた。 ・出産後の集まり場の紹介、子育ての方法など知る機会を作ることが出来た。 【健康づくり課】 ・パパママ教室の実施（集団：4回/年） 【集団教室】参加者：44人（内訳：初産婦20人・経産婦2人・父22人）、4回/年開催。 【個別教室】参加者：38人（内訳：初産婦21人・父17人） ・これから親になる夫妻に対し、妊娠中や産後の心身の変化についての講話、父親の妊婦体験や沐浴、衣服・オムツ交換の実技体験を通して、妊娠や出産・育児に対する知識を得る機会や仲間づくりの機会を提供できた。 	こども未 来課 健康 づくり課
7か月児健康相談実施率	97% (平成30年度)	100%	100%	A	○	<ul style="list-style-type: none"> ・7か月児健康相談を毎月1回（年間12回）実施。 ・7か月児健康相談：対象者数175人、実施者数175人。 ・相談日に来所できない人に対して、個別に相談日を設定することで対象者全員に対して健康相談を行うことができた。 ・健康相談の結果、要観察や支援が必要と判断された保護者に対して、電話や訪問、面談により個別支援を実施することができた。 	健康 づくり課

【分野(2) 地域医療】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和4年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和4年度の取組内容・実績	担当課
内科診療所数	7箇所 (平成30年度)	7箇所	7箇所	A	○	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療に関する住民の理解を深めるための活動を実施する「地域医療を支えるはいなんの会」の活動を支援した。 ・「地域医療を支えるはいなんの会」との共同事業として、こども医療費受給者証発送の際に、夜間や休日における医療機関のかかり方や医療機関を受診する際の留意点等のチラシを同封し、保護者に対する適正受診の啓発を図った。 	健康 づくり課

【分野(3) 地域福祉】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和4年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和4年度 取組内容・実績	担当課
社会福祉協議会におけるボランティア人材登録者数	170人 (平成30年度)	200人	123人	C		<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア募集について広報するとともに、登録者確保のための連絡会や養成講座を実施した。 ・新型コロナウイルス感染症のため、小中学生のボランティア活動については実施していない。 ・ボランティア連絡会の実施…調理ボランティア、運転ボランティアによる情報交換会 ・ボランティア講座…運転ボランティア入門講座、憩いの場の活動充実に向けた講座 	福祉課
小中学生が福祉ボランティア活動に参加した人数	34人/年 (平成30年度)	90人/年	0人/年	C※			福祉課
地域福祉推進委員会の開催	0回/年 (令和元年度)	1回/年	3回/年	A			福祉課

【分野(4) 社会保障（国民年金・国民健康保険・後期高齢者医療保険・介護保険・生活保護）】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和4年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和4年度 取組内容・実績	担当課
国民健康保険被保険者の特定健康診査受診率	39.8% (平成30年度)	60%	39.7% (R5.5時点)	C※	○	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じた上で、特定健康診査及び特定保健指導を実施した。 【特定健康診査】 集団健診及び委託した医療機関での個別健診を実施 実施時期：集団健診 R4.7月～R5.1月、個別健診 R4.6月～R5.3月 対象者：R4.4.1からR5.3.31までの期間、継続して国保資格のある40歳から74歳までの者 受診率：39.7%（R5.5.25現在の集計値） ※受診者数1,519人（対象者数3,822人） 【特定保健指導】 生活習慣病に移行させないように、情報の提供、動機づけ支援、積極的支援を実施 実施時期：R4.7月～R5.5月（集団健康診査実施後） 終了率：30.3%（R5.5.25現在の集計値） ※終了者数66人（対象者数218人） ・特定健診の受診勧奨事業として、未受診者へのAIを活用した勧奨通知の発送により勧奨を行った。 ・特定保健指導の実施により、生活習慣病の予防や改善を促すとともに、対象となる者へは医療機関受診へ繋げることができた。 	町民課

【分野(5) 子育て支援】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和4年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和4年度 取組内容・実績	担当課
保育所の待機児童数	0人 (平成30年度)	0人	0人	A	○	<ul style="list-style-type: none"> ・会計年度任用職員（保育士、給食員等）を64人雇用した。 ・町内の保育所の充実を図るため、小規模保育施設整備事業費補助金を3事業者に交付したことにより、0歳児から2歳児までの定員が49人増えた。 ・保育士等の確保を継続的に実施し、保育業務の安定を図ることができたことにより、年度を通して入所希望者に対し、全員が入所することができた。 ・定員590人、現員495人（令和5年3月31日現在。広域入所者含む。）、入所率83.90%。 	こども未来課
放課後児童クラブの待機児童数	0人 (平成30年度)	0人	0人	A	○	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年4月1日現在入所者数は、総合計で410人。 ・利用料について、サービス利用料の軽減を継続して実施している。 ・長期休業（夏休み）の入所募集を実施し、支援員の確保、人数の調整等を行い、家庭保育が不可能な家庭の児童の受け入れを実施した。 ・年度当初及び年度途中の入所希望者全員が入所することができ、放課後児童クラブ入所希望者待機児童数については目標値の0人を達成することができた。 ・夏休み等の長期休暇に支援員の確保、人数の調整等を行い、家庭保育が不可能な家庭の児童の受け入れをし、子どもの居場所を確保することができ、また保護者に対して安心して働ける環境を提供できた。 	こども未来課
ファミリーサポートセンター会員数	101人 (平成30年度)	150人	138人	B	○	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年より会員数（サポート会員数25人、リクエスト会員数109人、両方会員数4人）を増やすことで、育児負担の軽減に繋がり、延べ344件の子育て援助活動を実施することができた。 ・会員向け研修の実施（子どもの栄養と食生活についての講話、ファミリーサポートセンターフォローアップ講習会）した。 	こども未来課

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和4年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和4年度の取組内容・実績	担当課
子育て支援センター利用者数	8,734人/年 (平成30年度)	15,000人/年	7,450人/年	C※	○	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度利用者数7,450人。 育児中の母親の心身のリフレッシュに取り組んだ。(ベビーマッサージ教室、スキンケア教室、リトミック教室、親子deヨガ、GOGO!体操、ごはんのおはなし、にこにこタイム、散歩、手作り教室、誕生日カードプレゼント等) 利用者にとって居心地の良い場所作りを心掛け、興味関心を引くような親子教室、イベントの計画実施をした。子育てに関する情報提供を行い、母親同士が知り合えるきっかけ作りをする。利用者からの育児に関する相談に対しては対面や電話で受け付け、話を聴くことで不安感の緩和に努めた。相談内容によっては家庭相談員や関係機関と情報を共有し、子育て家庭に対する支援ができた。 	こども 未来課

【分野(6) 高齢者福祉】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和4年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和4年度の取組内容・実績	担当課
生涯現役人材バンク登録者数	102人 (平成30年度)	150人	114人	B		<ul style="list-style-type: none"> 豊かな知識、経験、技能等を有する高齢者の募集、登録、ボランティア活動を依頼する町民と登録を受けた高齢者とのマッチング及び調整を実施した。 生活支援コーディネーターが、通いの場等に直接出向き、当該事業について周知を行った。 令和4年度新規登録者数…12人 	福祉課
高齢者見守りネットワーク協力事業所数	46事業所 (平成30年度)	50事業所	51事業所	A		<ul style="list-style-type: none"> 高齢者が、地域社会から孤立してしまうことを未然に防止するとともに、町内の地域資源を活用し、行政・地域・企業が連携して高齢者を見守り、支援する体制をネットワーク化することにより、高齢者が安心して住み慣れた地域で生活することを目的とした連絡会を開催した。 令和4年度新規協力事業所数…4事業所(協力事業所数51事業所) 吉田町高齢者見守りネットワーク連絡会を书面開催し、協力事業所51事業所、関係団体11団体及び関係各課へ連絡体制やその手順の周知及び事業報告等を行い、見守り体制の強化を図った。 	福祉課
高齢者向けワンコインサービス利用者数 (累計)	241人 (平成30年度)	1,000人	4,422人	A		<ul style="list-style-type: none"> 吉田町シルバー人材センターに事業を委託し、きめ細かな在宅福祉サービスの提供とともに、元気な高齢者(シルバー会員)が高齢者を支える仕組みづくりと就労促進を図ることができた。 令和4年度延べ利用者数1,409人 	福祉課

【分野(7) 障害者福祉】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和4年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和4年度の取組内容・実績	担当課
障害福祉サービス及び地域生活支援事業利用者数	379人/年 (平成30年度)	400人/年	382人/年	B		<ul style="list-style-type: none"> 障害者及び障害児が障害福祉サービスを適切に利用できるよう、相談支援部会の開催を通して障害特性を理解し、適切な支給日数によるサービス提供を行った。 障害者が、障害福祉サービスを適切に利用したことにより、自立と社会参加の推進が図られた。 障害児が児童発達支援や放課後等デイサービスを利用したことにより、適切な療育と発達支援に繋げることができた。昨年度、児童発達支援をセルフプランで利用していた方に、計画相談員に多く繋げたことで、適切な支給量で支給決定ができるようになった。 令和4年度福祉サービス受給者証交付者数…347人(障害者…202人、障害児…145人) 障害の特性に応じた支援(手話通訳者・要約筆記者派遣等)や障害を補うため、移動支援や日中一時支援、紙おむつやストーマ装具等の日常生活用具の給付を行い、障害者が自立した日常生活を送ることができ、福祉の推進につながった。 令和4年度地域生活支援事業利用者数…35人(障害者…32人、障害児…3人) 	福祉課

◆ 基本理念 2

賑わいが生まれ、活力がみなぎるまちづくり

◆ 第3章 活力あふれる産業振興のまちづくり

【分野(1) 農業】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和4年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和4年度 取組内容・実績	担当課
認定農業者及び認定新規就農者数	32経営体 (平成30年度)	37経営体	26経営体	C		<ul style="list-style-type: none"> 次世代を担う農業者になることを志向する認定新規就農者に対し就農直後の経営確立に資する資金を交付し、経営の安定に寄与した。 次世代を担う農業者となることを志向する者に対し、就農後の経営発展のために、必要な機械・施設の導入を支援した。 農業次世代人材投資事業(経営開始型)…補助対象者1人(750,000円) 経営発展支援事業…補助対象者1人(7,500,000円) 	産業課
荒廃農地面積	15ha (平成30年度)	14ha	14ha	A		<ul style="list-style-type: none"> 部農会への回覧や広報等による周知、農地パトロールの実施、新規就農者への農地のあっせん、担い手農家へ農地の貸し借りを推進し、荒廃農地の発生防止や解消につなげた。 農業委員等を通じて制度周知を行い、補助金活用による荒廃農地の解消が図られた。(2人、2,579㎡) 農地の管理依頼(46人、54筆、29,182㎡) 	産業課
認定農業者等への農地集積率	47.3% (平成30年度)	57.0%	61.4%	A		<ul style="list-style-type: none"> 「農地利用集積奨励金」を活用しながら農地集積を積極的に推進し、規模拡大を図る認定農業者等への農地流動化や経営の安定を図った。 交付実績：8人(認定農業者等への補助対象面積20,554㎡) 	産業課

【分野(2) 水産業】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和4年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和4年度 取組内容・実績	担当課
水産振興拠点の整備	0件 (令和元年度)	1件	0件	C	○	<ul style="list-style-type: none"> 吉田漁港多目的広場に芝生広場と園路を整備した。 吉田漁港多目的広場の区域を指定して供用開始し、ウォーキングやサイクリングで使用されるようになった。 	産業課
漁業就業相談件数	1件/年 (平成30年度)	5件/年	1件/年	C	○	<ul style="list-style-type: none"> 漁業就業希望者から1件の漁業就業に関する相談があり、南駿河湾漁業協同組合吉田支所と連携し、対応した。 漁業就業希望者に対し、南駿河湾漁業協同組合と協力して漁業就業に関する情報提供を行ったが、新規就業にはつながらなかった。 	産業課
多目的広場の整備	27.6% (平成30年度)	100%	38.0%	B	○	<ul style="list-style-type: none"> 芝生広場、園路等の工事を実施した。 多目的広場天端部の芝生広場、園路の整備が完了し、区域を指定し供用開始を行っている。 	産業課

【分野(3) 商工業】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和4年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和4年度 取組内容・実績	担当課
製造品出荷額	281,989 百万円 (平成29年)	300,000 百万円 (令和3年)	302,899 百万円 (令和2年)	A		<ul style="list-style-type: none"> 吉田町商工会へ補助金を交付し、商工会の運営を支援した。 【吉田町商工会】商工会会員数：732事業所 地区内商工業者組織率：66.4% 地区内小規模事業者加入率：73.4% 経営指導員、補助員等を中心に行う小規模事業者の経営改善発展のための事業及び地域商工業者の総合的な振興発展のための事業を積極的に行っている吉田町商工会を支援することで、町内小規模事業者の経営改善が図られた。 	産業課
商品販売額	59,281 百万円 (平成27年)	60,000 百万円 (令和2年)	64,798 百万円 (令和2年)	A			産業課
新商品開発支援件数(累計)	0件 (平成30年度)	5件	0件	C			産業課

【分野(4) 観光】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和4年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和4年度 取組内容・実績	担当課
観光交流客数	296,646人/年 (平成30年度)	500,000人/年	197,774人/年	C※	○	<ul style="list-style-type: none"> ・年度前半は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり観光事業は縮小傾向にあったが、秋以降は観光需要が増加傾向になったため、テレビ番組等を活用し、積極的に吉田町のPRを行い、誘客につなげることができた。 ・例年に近い形でのイベント開催やマスコミを活用した情報発信により、来場者数の増加につながった。 	産業課

【分野(5) 新産業】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和4年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和4年度 取組内容・実績	担当課
創業者数(累計)	29件 (平成30年度)	60件	53件	B	○	<ul style="list-style-type: none"> ・各種情報媒体(広報・リーフレット・ホームページ等)を活用し、創業支援ネットワークの周知を行った。 ・創業に係る相談から創業実現後のフォローアップまで、きめ細やかな支援をすることができた。 ・令和4年度創業センター利用者数(令和4年4月1日～令和5年3月31日):1人 ・令和4年度新規創業者:10人 	産業課
大学等と連携した新商品等の開発(累計)	1件 (平成30年度)	2件	1件	C	○	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携し、新商品・サービス開発を計画している事業者の発掘を行った。 ・新商品・サービス開発に係る相談はなかった。また関係機関と連携し、新商品・サービスの開発を計画している事業者の発掘を行ったが、該当する事業者は見つからなかった。 	産業課

【分野(6) 企業誘致】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和4年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和4年度 取組内容・実績	担当課
“ふじのくに”のフロンティアを拓く取組に係る企業活動維持支援事業地内への企業誘致件数(累計)	2件 (令和元年度)	3件	3件	A		<ul style="list-style-type: none"> ・企業活動維持支援事業区域について、進出済み企業の運営・雇用確保状況等に関し継続してヒアリングを実施した。 ・町が基盤整備を行った範囲において100%の企業誘致を達成済み。進出企業の現況を定期的に確認し、当該エリアにおいて順調に事業運営を継続できていることを確認できた。 	企画課
“ふじのくに”のフロンティアを拓く取組に係る物資供給拠点確保事業地内への商業施設誘致件数(累計)	4件 (令和元年度)	5件	4件	C	○	<ul style="list-style-type: none"> ・物資供給拠点確保事業区域内への商業施設誘致を図るため、民間事業者への情報提供や相談受付を実施した。 ・対象用地の鑑定評価額を算出して事業用地の詳細な資料を用意したことにより、エリア内余剰地への施設誘致に向け、民間事業者と具体的な協議を行うことができた。 	企画課

【分野(7) 雇用・就業対策】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和4年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和4年度 取組内容・実績	担当課
インターンシップ参加者受入企業の開拓(累計)	32件 (平成30年度)	40件	37件	B	○	<ul style="list-style-type: none"> ・町内企業の人材不足解消や企業PR、職場への定着率向上を目的に吉田町合同企業説明会を開催した。 開催日:令和4年11月19日(土)、会場:住吉小学校体育館、参加者:29人、参加企業:16社 	産業課
インターンシップ参加者数(累計)	78人 (平成30年度)	150人	279人	A	○	<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップを実施している企業を把握するため、合同企業説明会に参加した企業に対しアンケート調査を実施した。 ・企業アンケートの実施によって、これまで把握していなかった企業のインターンシップ実施状況を把握することができた。 	産業課
榛南地区勤労者共済会の会員数	933人 (平成30年度)	1,000人	905人	C		<ul style="list-style-type: none"> ・榛南地区勤労者福祉協議会に補助金を交付し、勤労者の教育研修活動や地域福祉活動等を行っている榛南地区勤労者福祉協議会へ支援を行った。 会員数:19社、7,316人(うち吉田町6社、1,374人) ※令和5年3月31日時点 ・榛南地区勤労者共済会に補助金を交付し、小規模勤労者福祉推進事業を実施した。 会員数:519事業所、2,779人(うち吉田町139事業所、905人) ※令和5年3月31日時点 	産業課

◆ 第4章 魅力あふれる多様な交流を生むまちづくり

【分野(1) 土地利用】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和4年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和4年度 取組内容・実績	担当課
ふじのくにフロンティア推進エリアの認定数	0件 (令和元年度)	1件	1件	A	○	・認定された推進エリアにおいて、連携市町との情報交換を行いながら、具体的な事業計画の策定を行った。 ・策定した事業計画に基づき、通常は財源が見込まれない調査業務において、県のフロンティア推進エリア補助金の交付を受けながら実施することができた。	企画課

【分野(2) 住環境】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和4年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和4年度 取組内容・実績	担当課
空き家バンク制度の利用登録件数(累計)	0件 (平成30年度)	5件	0件	C		・近隣住民等からの報告により新たに判明した空き家に対しては、状況確認や所有者調査を実施し、県などが主催する相談会や空き家バンクの紹介を実施した。 ・空き家の所有者に対して、適切な管理を依頼することで空き家に起因する被害は出ていない。	都市 環境課
町営住宅大規模修繕棟数(累計)	3棟 (令和元年度)	5棟	3棟	C		・吉田町公営住宅等長寿命化計画に基づき、既存の公営住宅を適切に維持管理するため、破損や老朽化した部分の修繕、退去時のリフォーム及び各設備等の定期的な点検を実施し、入居者の居住性の維持に努めることができた。 ・令和5年度以降の吉田町公営住宅等長寿命化計画を策定した。 ・町営住宅の大規模修繕については、令和4年度の実績なし。	都市 環境課
土地区画整理事業において築造する道路の整備率	89.2% (平成30年度)	100%	89.2%	C		・道路築造以外の工事を実施する必要があったとともに、道路整備に係る地権者との調整が難航しており、令和4年度の実績なし。	都市 環境課

【分野(3) 公園・緑地・水辺】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和4年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和4年度 取組内容・実績	担当課
緑化イベント参加者数	14,000人/年 (平成30年度)	15,000人/年 (4年間平均)	5,000人/年	C		・令和4年4月29日に第30回みどりのオアシスマつりを開催し、緑化の啓発や推進を図ることができた。 ・みどりのオアシスマつりのイベントの一環として、新築家庭92戸中42戸への苗木配布やイベントでの花苗等の配布により、町民の緑化意識を高めることができた。 ・令和5年2月17日に緑化審議会を開催し、第31回吉田町みどりのオアシスマつり開催案に対する意見徴収、緑の募金運動(R4実績、R5計画)の説明を行った。	都市 環境課

【分野(4) 道路網】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和4年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和4年度 取組内容・実績	担当課
舗装修繕実施率	3.3% (令和元年度)	10.6%	13.7%	A		・地域の道路環境及び生活環境改善を図るため、道路の舗装修繕を実施した。 ・吉田町内道路土質調査業務委託の実施 事業内容：掘削復旧 N=4 箇所、試料採取 N=11 箇所、土質試験 N=11 試料 履行期間：R4. 10. 26～R5. 1. 31 ・大幡川尻2号線舗装修繕工事の実施 事業内容：路面切削 A=1,750 m ² 、殻運搬・処分 V=210 m ³ 、上層路盤・基層・表層 A=1,750 m ² 、区画線工1式、仮設工1式 工 期：R4. 6. 28～R4. 11. 14	建設課

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和4年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和4年度の取組内容・実績	担当課
橋梁点検（近接目視）実施率	20% (令和元年度)	100%	83.5%	B		<ul style="list-style-type: none"> 安全面や景観面など快適な道路環境を維持するため、橋梁点検、補修設計及び補修工事を実施した。 橋梁点検数・・・39橋（内職員による点検35橋） 橋梁点検実施率・・・83.5%（260橋うち217橋） 吉田町町道北原東2号線（北原東橋）外3橋橋梁定期点検業務委託の実施 事業内容：橋梁点検4橋（北原東橋、北原西橋、前玉橋、中原橋） 履行期間：R4.5.26～R5.3.31 念佛橋撤去に伴う護岸復旧設計業務委託の実施 事業内容：護岸復旧設計1橋（念佛橋） 履行期間：R4.9.5～R5.3.17 大幡川幹線排水路第2号橋梁補修工事の実施 事業内容：橋長25.72m、橋梁付属物工1式、橋梁補修工1式、現場塗装工1式、仮設工1式 工 期：R4.10.3～R5.3.14 愛宕歩道橋補修工事の実施 事業内容：橋長34.96m、舗装工1式、橋梁付属物工1式、橋梁補修工1式、現場塗装工1式、仮設工1式 工 期：R4.10.3～R5.2.9 	建設課

【分野(5) 生活交通】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和4年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和4年度の取組内容・実績	担当課
町内を運行するバス路線数	4路線 (令和元年度)	4路線	4路線	A	○	<ul style="list-style-type: none"> 国庫補助路線である、島田静波線、藤枝相良線の運行事業者に対して、運行に係る欠損額を関係市町が按分して補助し、路線の維持・継続を図ることができた。 地域間幹線系統確保維持費補助金（吉田町分）：9,501,366円 しずてつジャストライン株式会社が運行する国庫補助路線（島田静波線及び藤枝相良線）におけるバスの乗降調査を実施し、バス停留所ごとの利用数や客層等の状況を把握することができた。 	企画課
町内バス停の乗降者数	451,672人 (平成30年度)	469,700人	416,006人	C※	○	<ul style="list-style-type: none"> バスの利用環境を向上させ、通勤、通学及び観光の利便性向上を図るため、吉田町役場前バス停（相良営業所方面行）付近へのバス待合所兼観光情報発信拠点の設置及び片岡会館のサイクルアンドバスライドシステム（駐輪場）の屋根修繕を実施し、バスの利用環境を向上させ、通勤、通学及び観光の利便性向上を図ることができた。 	企画課

【分野(6) コミュニティ】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和4年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和4年度の取組内容・実績	担当課
自治会への加入率	68.4% (平成30年度)	75.0%	65.1%	C		<ul style="list-style-type: none"> 各自治会へ各種補助金等を交付し、地域のコミュニティづくりや自治会及び町内会の円滑な運営を支援することができた。また、自治会加入率を高めるために自治会連合会としてチラシを作成し、転入の際に配布したり、各自治会でもチラシを活用してもらえるようフォーマットを配布したりして自治会への加入促進を図っている。 自治振興費補助金：住吉区（4,829,000円）、川尻区（3,283,000円）、片岡区（3,399,000円）、北区（3,593,000円） 視察研修：自治会連合会視察研修事業（1,177,529円） ※令和4年10月19～21日（愛媛県西予市・福岡県那珂川市王塚台自治会） 自治会運営費補助金：住吉区（1,569,000円）…157円×9,998人、川尻区（960,000円）…157円×6,115人、片岡区（913,000円）…157円×5,820人、北区（1,156,000円）…157円×7,368人 指定管理委託料：住吉区（600,000円）…住吉会館、川尻区（100,000円）…浜丁会館、北区（150,000円）…大幡会館、神戸集落センター 地域活性化推進事業補助金：川尻区（600,000円）、片岡区（600,000円）、北区（600,000円） 町内会運営費補助金：住吉区（1,600,000円）、川尻区（800,000円）片岡区（600,000円）、北区（800,000円） 町内会活動費補助金：住吉区（3,163,000円）、川尻区（1,792,000円）、片岡区（1,575,000円）、北区（2,026,000円） 	総務課
コミュニティカレッジ受講者数（累計）	45人 (令和元年度)	55人	48人	B※		<ul style="list-style-type: none"> シニアカレッジの受講生1人がコミュニティカレッジを受講し、コミカレねっとわーく吉田に加入した。 	生涯学習課

【分野(7) 多文化共生】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和4年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和4年度 取組内容・実績	担当課
住民と外国人が交流を図るイベント等の参加者数	396人/年 (平成30年度)	450人/年	0人/年	C※	○	<ul style="list-style-type: none"> 各種国際交流事業を実施する吉田町国際交流協会へ補助金を支出した。 新型コロナウイルス感染症により3年間の実績がない中、協力者を得ることが困難であったため、住民と外国人が交流を図るイベントを実施するに至らなかったが、他団体が主催する事業に参加することで協会の周知活動を行うことができた。 年度当初計画していた事業の中で、日本語勉強会や災害時外国語ボランティア研修会など、新型コロナウイルス感染症に留意しながら実施することができた。 	企画課
多言語による情報発信回数	12回/年 (平成30年度)	12回/年	12回/年	A		<ul style="list-style-type: none"> 「広報よしだ」の情報を英語、中国語、ポルトガル語に翻訳し、毎月ホームページに掲載することで、外国人が吉田町で生活するために必要な情報提供ができた。 	町民課
外国語版情報誌の配布枚数	4,920枚/年 (平成30年度)	6,000枚/年	5,192枚/年	B		<ul style="list-style-type: none"> 外国語版(英語、中国語、ポルトガル語)情報誌を、従来の7か所(役場庁舎窓口、保健センター、図書館、中央児童館、はあとふる、榛原総合病院、ハローワーク榛原)に、11か所(町内郵便局2か所、町内保育園4か所、発達支援事業所、支援センター、町内スーパー2か所、静岡銀行)追加し、合計18か所に配架することで、外国人が吉田町で生活するために必要な情報提供ができた。 	町民課

【分野(8) 賑わいづくり】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和4年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和4年度 取組内容・実績	担当課
無料Wi-Fiスポットの設置数(累計)	2箇所 (平成30年度)	10箇所	9箇所	B	○	<ul style="list-style-type: none"> 観光情報発信施設(吉田町役場前バス待合所)に無料Wi-Fiスポットを設置し、観光客や町民の利便性の向上を図った。 令和3年度までに整備した「オープンWi-Fi」に係る管理及び運用を行った。 	産業課
案内看板(多言語化)の設置数(累計)	1箇所 (平成30年度)	10箇所	1箇所	C	○	<ul style="list-style-type: none"> 町内の観光施設等、多言語看板が必要とされる箇所の選定を行った。 設置場所が確定したことにより、事業が進みやすくなった。 	産業課
ホームページアクセス件数	163,463件/年 (平成30年度)	200,000件/年	179,342件/年	B		<ul style="list-style-type: none"> 住民のニーズに沿った情報提供を迅速かつ適切に行うため、ホームページサーバーの稼働監視、データのバックアップ、24時間体制のウイルス対策及びシステムのバージョンアップ等を実施し、適正にホームページを運用することができた。また、新型コロナウイルス対策や行政情報、各課からのお知らせやイベント等のページを活用した積極的な情報発信を行うことができた。 令和4年度のホームページアクセス数は179,342件であり、新型コロナウイルス関連ページへのアクセス数の減少により令和3年度を下回ったが、町の情報発信ツールとして有効に活用された。 	企画課

◆ 基本理念 3

豊かな心を育み、愛する郷土を守り、次代につなげるまちづくり

◆ 第5章 次代を担う心豊かな人を育むまちづくり

【分野(1) 幼児教育】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和4年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和4年度 取組内容・実績	担当課
幼児教育カリキュラムに基づく幼児教育の実施率	100% (令和元年度)	100%	100%	A	○	<ul style="list-style-type: none"> 幼児教育カリキュラムとスタートカリキュラムに基づく教育の実践を行うとともに、幼児教育カリキュラム実施委員会を通じて、幼稚園、保育園と小学校との交流・連携を図った。 幼児教育カリキュラム実施委員会 <ul style="list-style-type: none"> 【第1回】令和4年5月24日(火)、【第2回】令和5年1月24日(火) 「吉田町幼児教育カリキュラム」に基づく教育の実践を行うことで、町内の幼児が、幼・保・小連携教育を受講することができた。また「教師・保育士用指導書」に基づく実践を行うことで、カリキュラムに沿った指導方法の浸透を図ることができた。 	学校教育課

【分野(2) 学校教育】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和4年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和4年度の取組内容・実績	担当課
全国学力・学習状況調査の県平均正答率との差	—	令和2年度に小・中学校ともに全科目県平均正答率以上を達成し、以後継続させる	小学校 0/3科目 中学校 0/3科目	C	○	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査の当町と県との平均正答率を比較すると、小学校・中学校ともに県平均を下回った。 ・授業準備時間、研修時間等の確保を目的に授業日の平準化を行うことで、より質の高い授業の実践に資するとともに、町内全教職員研修会の開催や指導主事の学校訪問指導を行うことで、教員の授業力の向上を図った。 ・TCP Triwins Planの「教職員が授業に専念できる環境づくり」の一つとして、夏季休業及び冬季休業期間中に学校閉庁日を設定したことで、教職員の休暇取得の促進と自己研鑽の時間を確保した。 ・TCP Triwins Planの「保護者（家庭）の教育ニーズに応じた環境づくり」の一つとして、スクールソーシャルワーカーを配置したことで、児童生徒の問題に対し保護者や教職員と協力しながら問題解決を図った。 	学校教育課
各小中学校における学習者用コンピューター1台当たりの児童・生徒数	14.9人/台 (令和元年度)	1.0人/台	1.0人/台	A	○	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度に児童生徒1人1台端末の整備が完了し、令和4年度は、それらの維持管理を行った。 ・児童生徒1人1台端末や電子黒板を導入したことで、児童生徒の理解力、思考力等の向上を図ることができた。 ・学校、児童生徒及び保護者に対し、端末の扱い方について通知したことで、端末を適切に維持管理することができた。 ・端末故障が発生した場合は、速やかに修繕を行い、児童生徒の端末に不足が生じないよう対応したことで、円滑に授業を行うことができた。 	学校教育課
朝食を毎日食べる児童・生徒の割合	児童 94.8% 生徒 95.7% (平成30年度)	児童 100% 生徒 100%	児童 88.1% 生徒 83.9%	C		<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度に実施された全国学力・学習状況調査の「毎日朝食を食べていますか」という設問により、児童生徒の朝食を食べている状況を把握し、児童生徒が健康で快適に学校生活を送ることができるように努めた。 ・栄養教諭による食育指導を行うとともに、学校保健だより等により食の大切さ、健康保持増進について、児童生徒及び保護者に啓発した。 	学校教育課

【分野(3) 地域教育】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和4年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和4年度の取組内容・実績	担当課
地域教育推進事業への参加者数	102人/年 (令和元年度)	120人/年	84人/年	C		<ul style="list-style-type: none"> ・町内小中学校で家庭教育学級を実施したことで、小中学生をもつ保護者に対して学習の機会を提供し、家庭と学校が連携して子どもを育む体制づくりが推進された。 【住吉小学校】令和4年2月22日(水)「いのちの授業」参加者125人 【中央小学校】令和4年10月7日(金)「親子体操」参加者170人 令和4年2月3日(金)「お小遣いを考えよう」参加者13人 【自彊小学校】令和4年7月15日(金)「親の交流会」参加者34人 令和4年10月20日(木)「親子で楽しく体を動かそう」参加者61人 【吉田中学校】令和4年8月25日(木)「子供理解を保護者理解」参加者30人 令和4年10月25日(火)「親子の距離を縮める」参加者30人 令和4年8月25日(木)「子供理解を保護者理解」参加者30人 ・町内小学校で平日4時間授業日に対応した放課後子ども教室を実施したことで、地域住民の参画を得て、放課後の安全で安心な居場所づくりを推進できた。 【住吉小学校】住吉のびのび教室 全30回 申込者90人 【中央小学校】どんぐり教室 全29回 申込者121人 【自彊小学校】放課後わくわく教室 全25回 申込者114人 	生涯学習課
チャレンジ教室の教室数	27教室 (令和元年度)	30教室	18教室	C※		<ul style="list-style-type: none"> ・町内小学生を対象としたチャレンジ教室及びチャレンジ！サマーステイを実施し、町内の小学生が興味のある教室に申込み、様々な体験活動を体験することができた。また、地域の子どもは地域で育てるという体制づくりが推進され、日常の学校生活ではできない、学校や学年を越えた仲間と活動する機会を設けることができた。 【チャレンジ教室教室数】18教室(茶道、将棋、サッカー、キックボクシング等)受講者数…延べ191人 【チャレンジ！サマーステイ】目的地…焼津青少年の家、参加者数…18人 	生涯学習課

【分野(4) 青少年健全育成】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和4年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和4年度 取組内容・実績	担当課
笑顔いっぱい運動スタッフベスト配布枚数 (累計)	1,301枚 (平成30年度)	1,500枚	1,499枚	B		・吉田町笑顔いっぱい運動を実施し、賛同者には「黄色のベスト」を貸与することで、それを着用しながら登下校の見守りや声掛けを行っていただいた。この活動は人づくり、地域づくりの大きな力となったほか、「地域の青少年は地域で育てる」ことを推進し、青少年の健やかな成長を支援することができた。 期間：令和4年4月～令和5年3月 新規賛同者数：48人	生涯 学習課

【分野(5) 芸術文化・文化財】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和4年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和4年度 取組内容・実績	担当課
芸能祭出演者数	450人/年 (令和元年度)	700人/年	239人/年	C		・文化芸術にふれ、親しむ機会を提供することにより、町民等の感性や創造性を育むとともに、文化の振興と交流を図ることができた。 【芸能祭】開催日：令和4年10月23日(日)、出演者：239人、一般入場者：337人 【文化祭】開催日：令和4年10月29日(土)・30日(日)、出展者：824人、一般入場者：1,012人 【スプリングジャズライブ】開催日：令和5年3月5日(日)、来場者：172人 【小山城お花見茶会】雨天のため中止	生涯 学習課
文化展出展者数	1,529人/年 (令和元年度)	2,000人/年	824人/年	C			生涯 学習課
芸能祭、文化展等入場者数	2,703人/年 (令和元年度)	4,000人/年	1,349人/年	C			生涯 学習課

【分野(6) 生涯学習】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和4年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和4年度 取組内容・実績	担当課
生涯学習教室参加人数	885人/年 (平成30年度)	900人/年	919人/年	A		・生涯学習教室を実施し、様々な種類の学習機会が選択でき、住民の学習活動の促進を図ることができた。 目的：町民の自発的な学習機会の提供と学習意欲の促進を図る。 講座数：前期・通年64講座、後期56講座 講座内容：パソコン、童謡、骨盤体操、生け花、書道、スマイル体操 ほか 受講者数：919人	生涯 学習課
シニアカレッジ・寿大学受講者数	109人/年 (令和元年度)	120人/年	22人/年	C		・大学の先生や様々な専門家等を講師とするシニアカレッジを実施し、受講生が様々な講義を受けることにより、知識の習得を図ることができた。 目的：新たな知識の習得、仲間づくり、社会活動、シニア世代がいきいきと充実した生活を送ることができる学習機会の提供を図る。 講座数：51講座 講義内容：一般教養講座(歴史、薬学、防災等)、コース別講座(健康づくり、園芸)	生涯 学習課
図書館来館者数	115,876人/年 (平成30年度)	130,000人/年	79,212人/年	C		・定期的に蔵書管理を行うことによって利用者ニーズに応えるとともに、図書館情報システム更新に合わせて自動貸出機1台を導入し、貸出サービスの利便性向上に努めることができた。 ・ブックスタート事業を再開し、子育て支援の強化やおはなし会への参加増加につなげることができた。 ・読書バリアフリーコーナー「りんごの棚」を新設し、読書バリアフリー法への取り組みを推進するとともに、「大活字本」、「点字つき絵本」、「LLブック」の受入を拡大し、誰でも読書を楽しめることができるよう配慮することができた。 ・町公式LINEでの図書館行事の情報発信を積極的に行ったことによって、おはなし会の参加者や雑誌リサイクルの配布冊数増加につなげることができた。	生涯 学習課

【分野(7) スポーツ・レクリエーション】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和4年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和4年度の実績内容・実績	担当課
各種大会、スポーツ教室等への参加人数	1,911人/年 (平成30年度)	2,800人/年	1,029人/年	C		<p>・「町民1人1スポーツ」の実現に向けた今後の具体的な取組について、スポーツ推進委員と常葉大学の協力を得て、教室や大会の安全な開催方法等を検討し、実施につなげた。</p> <p>・よしスポサークルについては、誰もが取り組みやすい種目を継続的に選定することで、幅広い年齢層の方が参加され、参加者からの紹介もあり、新規参加者(20代)が目立った。</p> <p>【よしスポサークル運営】毎週水曜日45回開催(前期25回、後期20回) 4種目(ソフトバレーボール、ファミリーバドミントン、インディアカ、ダーツ)</p> <p>・コロナ禍における各種大会の開催に当たり、各競技別のガイドラインに準じて開催したことで、参加者が安心して参加することができ、町民の交流と健康増進が図られた。</p> <p>各種大会(インディアカ大会、ソフトバレーボール大会、ダーツ大会)町長旗ソフトボール大会・町長杯グラウンドゴルフ大会・なぎなた体験会開催についてコロナ対策を行いながら開催した。</p> <p>・ソフトランニング教室では、特に小学生向けの楽しく気軽に参加できるトレーニングを行い、開催日には毎回吉田町公式LINEにて周知を図ったことにより、兄弟・親子での参加が目立った。</p> <p>【ソフトランニング教室運営】毎週木曜日36回開催</p> <p>・多くのボランティアスタッフの協力を得て、市町対抗駅伝競走大会への出場に向けた練習会を週1回実施したことで、小学生から一般選手までの競技力向上につながり、町の部2位の成績を収めることができた。</p> <p>【市町対抗駅伝競走大会】開催日:12月3日</p> <p>【練習会運営】毎週木曜日25回開催</p> <p>・令和4年度より生涯学習課事業となった健康体力づくり教室(親子DEげんき体操、にこにこ健康体操、もみじトランポ、Smileフィットネス、リフレッシュエクササイズ、スロー筋トレ健康体操、らく楽健康体操)はコロナ禍のため、人数制限をかけた募集だったが、例年同様に多くの方が参加していただいた。</p> <p>【健康体力づくり教室】(各教室10回/1期×3期=30回)</p> <p>・3年ぶりの開催を目指した町駅伝大会については、前日雨天によるグラウンド不良に見舞われ中止を余儀なくされた。</p>	生涯学習課

◆ 第6章 豊かな自然と共生するまちづくり

【分野(1) 上水道】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和4年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和4年度の実績内容・実績	担当課
基幹管路の耐震化延長	3,061m (平成30年度)	4,941m	5,206m	A		<p>・老朽管を耐震管に布設替し、漏水事故等による被害削減を図ることができた。また、断水時に導水施設間で原水の相互融通を可能とするための連絡管を整備し、大規模自然災害に備えることができた。</p> <p>・水道施設の耐用年数を経過した遠方監視装置等を更新し、水道利用者への安定供給を図ることができた。</p> <p>・老朽管布設替…1,354m施工</p> <p>・基幹管路耐震化…219m施工(導水施設連絡管187m含む)</p>	上下水道課
有収率	87.5% (平成30年度)	90%	88.1%	B		<p>・給水に必要な施設点検及び修繕を行うとともに、浄水場や配水池等の維持管理、原水・浄水の水質検査を行った。</p> <p>・漏水修繕26件、施設修繕13件、配水管等修繕10件及び「計量法」に基づく8年毎のメーター取替修繕を1,300件行った。</p> <p>・漏水調査を約143km行い、漏水の早期発見に努めた。</p> <p>・令和4年度の有収率は、昨年度より微減したが現状値(基準値)を上回っており、経営戦略に基づいた効率的かつ計画的な水道事業を運営することができた。</p>	上下水道課

【分野(2) 下水道・浄化槽・し尿処理】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和4年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和4年度の取組内容・実績	担当課
下水道処理人口普及率	37.7% (平成30年度)	42%	38.6%	B		・未普及解消のための新たな管渠を1,234.75m布設し、供用開始面積を4.73 ha 拡大したことで、新たに下水道を利用できる区画を88区画(48戸)増やすことができた。 ・ストックマネジメント計画に基づき、施設の改築・更新を実施し、浄化センター及びマンホールポンプ場の機械・電気設備について予防保全型の施設管理を行うことができた。	上下 水道課
浄化槽処理人口普及率	39.1% (平成30年度)	42%	44.8%	A		・前年度から予算額を増額し、合併処理浄化槽の設置推進をしたことにより、生活排水による公共用水域の水質保全に寄与し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図ることができた。 【補助金交付実績】5人槽：96基(47,252,000円)、7人槽：20基(13,350,000円)、10人槽：1基(938,000円)	上下 水道課

【分野(3) 環境衛生】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和4年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和4年度の取組内容・実績	担当課
飼い主のいない猫不妊去勢手術実施件数 (累計)	989件 (平成30年度)	1,500件	1,575件	A		・(公社)静岡県獣医師会所属の獣医師や中部保健所と連携して飼い犬や飼い猫の適切な飼養指導を行い、畜犬台帳を適切に管理することができた。 ・飼い主のいない猫の不妊去勢等手術を行うことで、繁殖を制限し、公共の場で発生する死亡件数が減少した。 ・飼い主のいない猫不妊・去勢等手術事業費補助金実績：128件(雄：去勢手術710件/雌：不妊手術58件)	都市 環境課
環境学習参加者数(累計)	126人 (平成30年度)	200人	217人	A		・地域住民を対象に、身近な環境問題に対する理解を深めるための学習講座を、生涯学習課主催のシニアカレッジと共催し、環境問題に関する意識向上を図ることができた。 【第1回】日時：令和4年10月12日(水)、場所：中央公民館 参加人数：シニアカレッジ受講者(15人) 内容：SDGsに向けて今できることを考える～私たちの未来と、吉田の豊かな海のために～ 講師：ちいさな理科館 館長 中山隆雄氏 【第2回】日時：令和4年10月26日(水)、場所：中央公民館 参加人数：シニアカレッジ受講者(16人) 内容：プラスチックの海洋汚染 講師：静岡県環境衛生科学研究所 環境科学部 竹下由布子氏	都市 環境課

【分野(4) ごみ減量・リサイクル】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和4年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和4年度の取組内容・実績	担当課
1人1日当たりの可燃ごみの排出量	743.2g (平成30年度)	603.81g	844.00g (R5.3時点)	C		・町内で発生した剪定枝や刈草の再利用促進、家庭での生ごみの減量化を図ることで、環境に対する意識を高めることができた。	都市 環境課
ごみのリサイクル率	19.9% (平成30年度)	26.0%	18.9% (R5.3時点)	C		・家庭からは排出される生ごみの減量化、堆肥化によるリサイクルが推進された。 【吉田町生ごみ処理機器等設置補助金】12件(173,400円)	都市 環境課

【分野(5) 地球温暖化防止対策】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和4年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和4年度 取組内容・実績	担当課
吉田町住宅用新エネルギー機器等設置事業費補助件数(累計) (太陽光発電システム)	417件 (平成30年度)	500件	440件	B		<ul style="list-style-type: none"> 環境負荷の少ないクリーンエネルギーを利用する住宅用新エネルギー機器等の設置を推進し、二酸化炭素排出量の削減に努めた。 広報を通じ、地球温暖化防止に対する啓発や既存住宅に住宅用の新エネルギー機器等を設置しようとする町民に対して補助金制度の周知を図った。 【住宅用新エネルギー機器等設置事業費補助金】4件(400,000円)	都市環境課
吉田町住宅用新エネルギー機器等設置事業費補助件数(累計) (蓄電池システム)	42件 (平成30年度)	100件	63件	B			都市環境課
公共施設における温室効果ガス年間排出量	2,644 t-CO2 (平成30年度)	2,600 t-CO2	2,422 t-CO2 (R4.10時点)	A			都市環境課

◆ 第7章 行政と住民が一体となって取り組むまちづくり

【分野(1) 行財政】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和4年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和4年度 取組内容・実績	担当課
吉田町まちづくりステップアップ行政評価による点検実施率	100% (平成30年度)	100%	100%	A		<ul style="list-style-type: none"> PDCAサイクルの考え方を取り入れた「吉田町まちづくりステップアップ行政評価」の運用により、実績の把握、事業の評価を一連の流れの中で行い、評価結果に基づく実施計画の内容を基礎資料とし、令和5年度の当初予算編成につなげることができた。 財務会計システムと連動した行政評価システムの構築に向けて、実施計画事業と予算事業の関係性について、財政管理課及びSBS情報システムと協議を開始した。 吉田町行財政構造改革推進本部会議及び地域づくり推進委員会を5回開催し、第5次吉田町総合計画前期基本計画進捗管理報告書、第2期吉田町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価結果報告書、令和4年度行政評価結果報告書、令和4年度実施計画書(令和5年度～令和7年度)、第6次吉田町総合計画の策定、第4次吉田町国土利用計画の策定、吉田町行政改革大綱(第7次)及び吉田町DX推進計画について審議を行った。 	企画課
実質公債費比率	11.5% (平成30年度)	18%未満を維持	10.5	A		<ul style="list-style-type: none"> 適正な予算編成を行い、計画的かつ効率的な予算執行ができた。 財政指標の作成及び分析を行い、現在の財政状況の把握ができた。 財政状況の公表を円滑に行うことができた。 	財政管理課

【分野(2) 高度情報化】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和4年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和4年度 取組内容・実績	担当課
行政手続きなどに係るオンライン利用件数	24,503件/年 (平成30年度)	31,271件/年	38,018件/年	A		<ul style="list-style-type: none"> パソコン及び総合行政情報システム等を借り上げ、適正な配備を行ったことにより、事務処理及び行政サービスの効率化を図ることができた。また、基幹系機器の更新については、大掛かりな作業であったが、トラブルもなく確実に実施することができた。 ウイルス駆除対策を実施したことにより、外部への情報漏えいやデータの改ざんがなく、情報資産を保護することができた。 全国的に自治体DXを推進する中、当町においても副町長をCIOとした体制の下、着実にデジタル政策を推進するため、専門知識を持った外部人材から定期的に支援が得られる環境を整備した。 全職員を対象に階層別研修や国が進める自治体情報システムの標準化・共通化に関する職員研修を実施することにより、DXに関する理解を深めることができた。 町のデジタル政策推進の方向性を示す「吉田町DX推進計画」を策定することができた。 新型コロナウイルス感染症やその他の理由により出勤できなくなった職員に対して、職場から緊急的に画面を通じて連絡を取ることができるよう環境整備を行った。 	総務課
電子申請サービス数	7種類 (平成30年度)	10種類	60種類	A			総務課
情報セキュリティ問題発生件数	0件/年 (平成30年度)	0件/年	0件/年	A			総務課

【分野(3) 情報公開】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和4年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和4年度の取組内容・実績	担当課
個人情報の流出・紛失事故件数	0件/年 (平成30年度)	0件/年	0件/年	A		・吉田町の情報公開制度及び個人情報保護制度を適正に運用したことにより、個人情報を流出や紛失した事故もなく、適正に公文書等の取扱いができた。 ・改正された個人情報保護制度への対応を円滑に行うことができ、適正に事務が執行された。 ・行政手続個票の更新により、行政運営における公正の確保と透明性の向上を図ることができた。	総務課
情報セキュリティに関する研修を受けた人数(累計)	92人 (平成30年度)	250人	369人	A		・情報セキュリティに関する研修を開催し、個人情報を流出や紛失した事故もなく、適正に公文書等の取扱いができた。 【法制執務研修(初級)】 日時：令和4年10月21日、参加者：12人 【マイナンバー事務取組担当者等に係る研修】 日時：令和4年12月26日、令和5年2月7日、令和5年2月15日、参加者：106人	総務課

【分野(4) 広報・広聴】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和4年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和4年度の取組内容・実績	担当課
ホームページアクセス件数	163,463件/年 (平成30年度)	200,000件/年	179,342件/年	B		・住民のニーズに沿った情報提供を迅速かつ適切に行うため、ホームページサーバーの稼働監視、データのバックアップ、24時間体制のウイルス対策及びシステムのバージョンアップ等を実施し、適正にホームページを運用することができた。また、新型コロナウイルス対策や行政情報、各課からのお知らせやイベント等のページを活用した積極的な情報発信を行うことができた。 ・令和4年度のホームページアクセス数は179,342件であり、新型コロナウイルス関連ページへのアクセス数の減少により令和3年度を下回ったが、町の情報発信ツールとして有効に活用された。	企画課
町政報告会参加者数	102人/年 (平成30年度)	300人/年	—	—※		・新型コロナウイルス感染症の影響により町政報告会を開催できなかった代わりに、4地区で開催した第6次総合計画策定のためのタウンミーティングにおいて報告資料を配布するとともに、ホームページに掲載して周知を図った。	総務課

【分野(5) 住民参画】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和4年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和4年度の取組内容・実績	担当課
NPO法人の数	3団体 (平成30年度)	5団体	3団体	C		・市町市民活動担当課長会議等へ出席し、県や他市町と意見交換をしたことで、NPO法人などの住民参画推進事業について課題を共有することができたが、NPO法人の数及び会員数の増加を図ることはできなかった。	企画課
NPO法人の会員数	63人 (平成30年度)	100人	59人	C			企画課

【分野(6) 男女共同参画・人権尊重】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和4年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和4年度の取組内容・実績	担当課
静岡県「男女共同参画社会づくり宣言」事業所・団体数	20件 (平成30年度)	25件	20件	C	○	・男女共同参画の促進や意識啓発に努めたが、新たな事業所による静岡県「男女共同参画社会づくり宣言」の登録に至らなかった。 【よしだ未来フォーラム】 開催日：令和5年2月12日(日)、場所：学習ホール 講師：久保ひとみさん 内容：子育てでよしだを盛り上げよう！～久保ひとみさん元気の秘訣～ 【男女共同参画企業セミナー】 開催日：令和4年10月31日(月)、場所：Zoomによるオンライン配信 講師：静岡県立大学国際関係学部教授 犬塚協太氏 内容：実現しよう！～誰もが働きやすい職場×ワークライフバランス事例紹介：静岡銀行吉田エリア統括店長兼支店長 大箸武史氏	企画課

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和4年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和4年度の取組内容・実績	担当課
人権啓発講演会参加者数（累計）	505人 (令和元年度)	1,150人	644人	B		<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育講演会（人権を守る会との合同開催）を福祉課と合同で開催し、町内各委員の職にある参加者の人権意識の向上を図ることができた。 開催日：令和5年1月27日（金）、場所：学習ホール 講師：講師 神田織音 氏 内容：講談で考える人権問題、参加者：34人 	生涯 学習課

【分野(7) ユニバーサルデザイン】

実施計画の主な目標	現状値 (基準値)	目標値	令和4年度 実績	評価	総合戦略 掲載事業	令和4年度の取組内容・実績	担当課
公共施設におけるユニバーサルデザイン化 実施箇所数（累計）	4箇所 (平成30年度)	8箇所	18箇所	A		<ul style="list-style-type: none"> ・町の業務におけるユニバーサルデザインの取組を調査し、各課の取組状況を把握することができた。 ・「公共施設ユニバーサルデザイン化及び省エネルギー・新エネルギー機器導入助成事業助成金」を活用し、防災公園及び町内小中学校における屋外トイレのユニバーサルデザイン化、学習ホール駐車場及び住吉会館における照明のLED化を実施することで、住民の施設利用における快適性の向上に資することができた。 ・町広報誌（3月号）にユニバーサルデザインに係る記事を掲載することで、住民意識を向上することができた。 	企画課